

市長コラム

～魅力ある地域づくり～

Vol.45



秋を感じる間もなく、本格的な冬が訪れる12月を迎え、この一年を振り返りますと、幸いにして当市では大きな災害もなく、米やりんごをはじめ、農作物の収穫状況もたいへん良いとのことで、地域の主要産業である第一次産業に従事されている皆さんにとっては、穏やかな年末を迎えられるものと安堵しています。

★食品ロスを減らしましょう！

忘年会シーズンを迎え、私自身も宴席に出る機会が増える中で強く感じるのは、まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品、いわゆる「食品ロス」に対する意識が低いということです。

私たちがこの地球で暮らし続けていくための世界共通の目標である「SDGs」の中でも大きく取り上げられている食品ロスは、「まだ食べられるのに捨てるのはもったいない」というだけでなく、廃棄食材の処理で発生する温室効果ガスが異常気象の原因となったり、先進国が過剰な食料を輸入することで、生産国では資源が枯渇してしまうなど、飢餓を生み出す原因となっています。

2023年に飢餓に直面した人は最大約7億5,700万人で、これは世界で約11人に1人、アフリカでは約5人に1人とされています。特に子どもの場合は、死の危険に直面するリスクが高く、生存にとって大きな脅威となっています。

食品ロスを出さないためには一人ひとりの心掛けが大切です。ご家庭ではもちろん、外食での注文方法を工夫するなど、今一度、皆さんのご協力をお願いします。

★市役所にSDGs ツリーを設置します！

今年2月号のコラムにおいて、「南小っ子SDGs ツリープロジェクト」を紹介し、これを参考にしたSDGs ツリーを今年12月に市役所に設置することを書きました。



足漕ぎペダルでの発電を体験できます

市では、市全体のSDGsに対する意識高揚を図り、SDGsの理念に基づく持続可能なまちづくりに資することを目的に「五所川原市SDGs ツリー project あなたにもできることがあります。」を立ち上げ、SDGs ツリーの設置に向け、市民の皆さんからご家庭で不用になった電飾をたくさん提供いただきました。ありがとうございました。

SDGs ツリーには、市民の皆さんが各自のSDGsに関する目標や実績を記入した「マイSDGsカード」を飾るほか、電飾の点灯には、ペダルを漕ぐ力により変換させた電力を使用することとしており、12月2日に市役所本庁舎1階の土間ホールにおいて点灯式を行います。

SDGs ツリーは12月25日まで展示しますので、市役所に来庁された皆さんには、カードへの記入のご協力をお願いするとともに、ぜひ、足漕ぎペダルでの発電を体験していただきたいと思っています。

人口減少社会の中で、ささいなことかもしれませんが、一人ひとりの力、一步一步の積み重ねから一つの目標に向かって一丸となって挑戦し、社会全体を変えていこうというこの取組は、「市民協働社会」のお手本となるものと思っています。

市の最上位計画であり、市の施策全般の方向性を示す五所川原市総合計画は、市民、団体、企業等の地域のさまざまな主体が同じ目的に向かって、共に進む指針となることを目指すもので、現在、市では令和7年度からスタートする新たな総合計画の策定作業を進めています。

この新総合計画においては、市民一人ひとりが「自分にできること」を少しずつ行うことで、最初は小さかった各々の活動が地域内でつながっていき、シナジー(相乗効果)を生み出すまちを目指すこととしており、SDGsの理念にも合致したものとなっております。

SDGs ツリー projectのような取組も含め、新総合計画の理念を市民の皆さんと共有しながら、「市民ひとりひとりの『思い』で輝く五所川原」の実現に向け、共に取り組んでまいりたいと考えています。



マイSDGsカードへの記入をお願いします